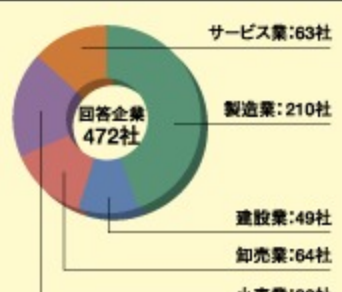


景気動向

景況感2カ月ぶりにわずかに下回るも、
改善の動き続く

2003.7調査

- 調査時点 7月末時点
 - 回収期間 平成15年8月1日～15日
 - 対象企業 1,000社
 - 回答企業数 472社
- 製造業210社 建設業49社 卸売業64社
小売業86社 サービス業63社



※DI (Diffusion Index) 値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値である。

全業種

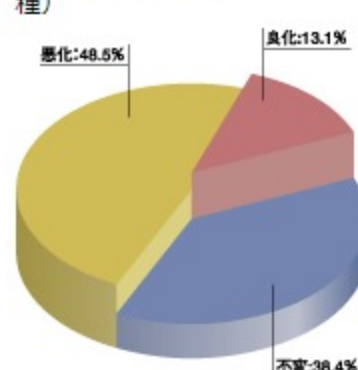
■ 対前年同月比

業況対前年同月比～良化13.1 悪化48.5 DI値▲35.4

前月との比較～▲7.5わずかに悪化

対前年同月比のDI値は、業況・売上・採算・資金繰りとも改善傾向が続いていたが、いずれも6月末時点よりわずかに下げた。しかし、業況・採算・資金繰りは、今年1月以降では、6月末時点につくDI値となった。

■ 業況の対前年同月比 (全業種)

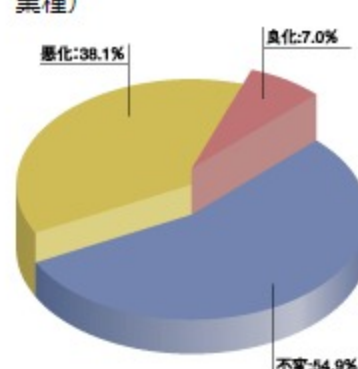


■ 3カ月先見通し

業況～良化7.0 悪化38.1 DI値▲31.1

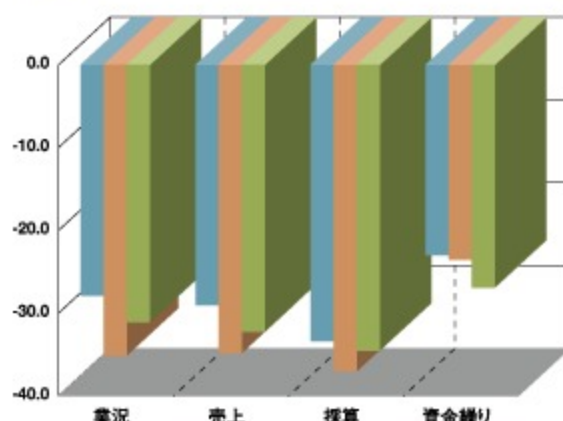
7月末時点からみた3カ月先見通しは、業況・売上・採算・資金繰りとも、横ばいを見通している。

■ 業況の3カ月先見通し (全業種)



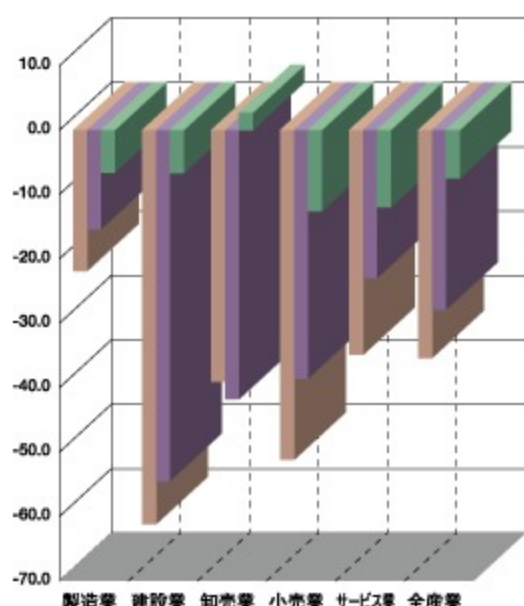
■ 主要4項目DI値 (全業種)

	業況	売上	採算	資金繰り
6月	-27.9	-29.5	-33.4	-23.0
7月	-35.4	-34.8	-37.0	-23.5
先行き	-31.1	-32.2	-34.5	-26.9



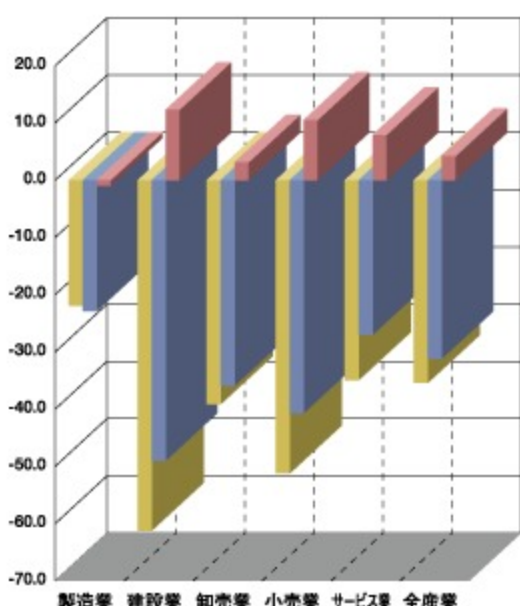
■ 業況DI値の前年比

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
今月	-21.9	-61.3	-39.0	-51.2	-34.9	-35.4
前月	-15.3	-54.6	-41.8	-38.5	-22.9	-27.9
差異	-6.6	-6.7	2.8	-12.7	-12.0	-7.5

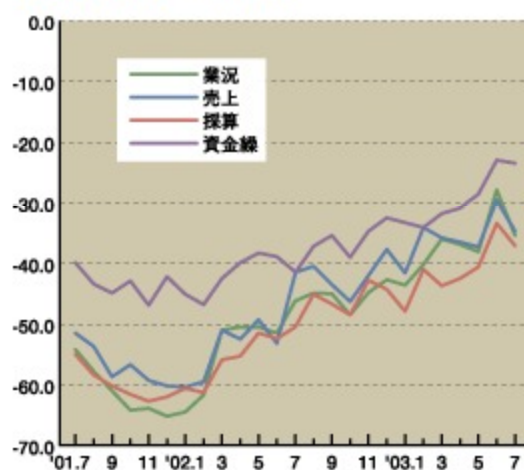


■ 業況DI値の先行き

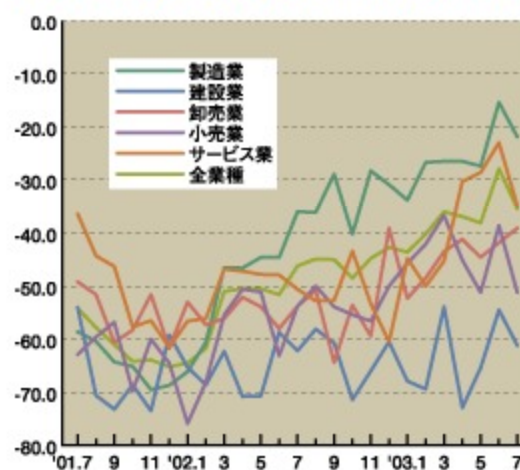
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
前年比	-21.9	-61.3	-39.0	-51.2	-34.9	-35.4
先行き	-22.9	-48.9	-36.0	-40.7	-27.0	-31.1
差異	-1.0	12.4	3.0	10.5	7.9	4.3



■ DI値の推移 (全業種)



■ 業種別業況の推移 (製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業)



製造業

■ 対前年同月比

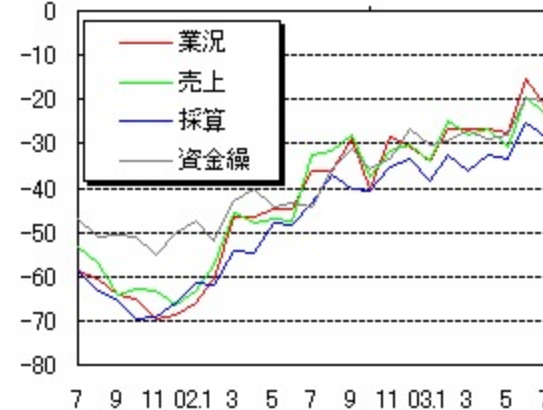
全体では、業況がわずかに悪化、売上・採算・資金繰りは横ばいの結果を示した。小分類で見ると、「輸送用機器」の業況DI値が38.5、「精密機器」の業況DI値が7.7となった。「酒造」の採算、「精密機器」の資金繰り、「輸送用機器」の売上・資金繰りのDI値もプラスとなった。

前月との比較では、「鉄鋼・非鉄」「一般機械」の業況は、40ポイント前後の悪化となった。

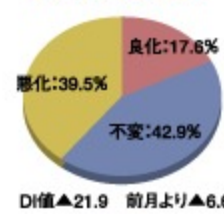
■ 3カ月先見通し

業況・売上・採算・資金繰りとも、横ばいを示す結果となった。小分類で見ると、「酒造」「木材・木製品」「金属」「電気機器」の業況は、改善を見通しているが、「ニット」は50%の悪化を見通している。

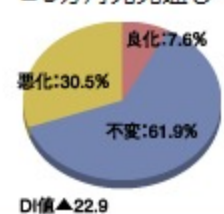
■ 製造業



■ 対前年同月比



■ 3カ月先見通し



自由意見より

- 業況、売上ともに会社一丸となって努力しているが、一般の消費が低調である。3カ月後の予想は難しい状態にあると思う。

【食料品】

- 秋物こそと期待していたが、天候の具合も影響して思わしい状況ではない。これからの活況に期待している。

【縫製】

- 仕入材料(厚板)はメーカーの輸出好調等で値上げ、ユーザーはコストダウン要求。その間で採算維持に苦労している。

【鉄鋼・非鉄】

- 中国向けパワーショベルの生産が大幅増加。旋回モーター、ミニパワーショベルの米国向け輸出が決まり、今年5月より増加。今年中は同調か、他部品部門が低調である。

【輸送用機器】